



プレスリリース

2001年(平成13年)11月8日

関係者各位

大和インベスター・リレーションズ株式会社
〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1
Tel 03-3243-5000(代表) Fax 03-3271-0267

「セルサイド・アナリスト、ファンドマネージャーの最新ネット環境」

(2001年10月5～19日調査実施)

大和証券グループのIR(投資家向け広報)コンサルティング会社である大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京・中央区、社長・宮田長吉)は、セルサイド・アナリスト、ファンドマネージャー等が利用する「インターネット環境」に関するアンケート調査を実施した。

「インターネット環境」に関するアンケート調査の問題意識

- 最近、ADSL・光通信等のブロードバンドの普及とともに、インターネットを使った決算発表や会社説明会の配信に企業の関心が高まっていますが、IR情報を受けとめるセルサイド・アナリストやファンドマネージャーが置かれた職場のインターネット環境は十分でしょうか。何が一番求められているブロードバンド・コンテンツでしょうか。動画か、または音声の配信か。ライブかオンデマンド配信か。さらに説明会資料の掲載か。
- このような質問表による調査を、10月5日～19日、日本国内の主要な日系・外資系証券会社調査部門及び機関投資家を対象に実施し、合計66社、85名(証券アナリスト44名、ファンドマネージャー25名、その他16名)から回答を得ました。

調査結果の要旨・コメント

- 「インターネット環境」は、全回答者の99%がある、と答えた。セルサイド・アナリスト、ファンドマネージャーでは、「ある」が100%。
⇒インターネットによる企業情報の収集・分析アプローチが完全に普及した。今後のIR活動は「インターネットIR」を1つの柱にしなければ、日常の活動が出来ない時代に入った、といえる。
説明会の動画配信の利用経験は69%。「よく利用している」20%、「利用したが問題が多い」49%、「利用していない」17%、「利用できない」は14%。
⇒ADSLの急速な進展でIRツールでも注目される動画配信。職場のインターネットは、動画配信を「利用していない(17%)」「利用できない(14%)」の合計31%。約半数が「利用したが問題が多い(49%)」と答え、満足に使いこなしていない様子が伺える。難なく活用しているのは20%に留まった。
約半数が「利用したが問題が多い(49%)」と答えたが、動画を視聴する時の障害の第1は、「音声を上げると周囲に迷惑がかかる」で39%にものぼった。次に「画質に問題が多い」(27%)。「説明会で質問できない」(13%)、「映像・音声途切れがち」(9%)、「技術的問題等」(7%)が

大和インベスター・リレーションズ

Daiwa Investor Relations

続く。その他には、「時間効率が悪い」、「内容に魅力がない」などコンテンツの工夫が必要であるとの意見も散見された。

インターネット環境の問題は、「音声を上げると周囲に迷惑がかかる」39%に見られるとおり、社員1人当たりの床面積やデスク配置など職場空間のデザインの優劣が利用の頻度に影響している。

しかし、「画質に問題が多い」(27%)、「映像・音声が途切れがち」(9%)、「技術的問題等」(7%)などインターネット配信の技術的問題に関連するものが過半数を占めていることも重要なポイントだ。使用しているパソコンのバージョンアップが間に合っていないとか、ホスト・コンピュータの容量不足といった、個人の力量を超える側面もあるようだ。

動画配信を「利用できない」は全体の14%で、そのうち、今後「環境整備の予定が無い」が83%を占めている。

⇒新しいインターネット・デバットが生まれつつある。

「よく利用している」動画コンテンツは「音声+静止画」47%、「オンデマンド動画配信」35%、「ライブ動画配信」29%、「音声のみ」24%。

⇒個別の質問では、音声で説明会を聞く。画面上で説明会資料をめくる。この「音声+静止画」47%で1位。しかし、動画配信も視聴率は悪くない。ライブ・オンデマンドを合わせると、64%が動画配信を視聴している。IRに動画の魅力は高い、と判断出来る。

■「説明会に出席しなかった場合」に見たいインターネットコンテンツは、「説明会資料」78%、説明会議事録、Q&A等」78%、「説明会での経営方針」72%、「説明会での決算説明」67%が圧倒的。

今回の調査は、プロの証券アナリスト・機関投資家が、企業のIR情報の情報収集手段として、インターネットで動画配信を日常的に活用できる態勢を用意しつつあること(動画配信の視聴経験69%)、視聴者側のオフィス環境やシステム上の課題を残していること。出席しなかった説明会について動画配信で説明会の経営方針、決算説明を視聴することが明確になりました。

今回の調査結果は次のとおりです。

① ほぼ100%のインターネット環境

回答者の99%が、インターネット上でホームページを閲覧できる環境について可能と答えた。アナリスト、ファンドマネージャーは回答者全員が可能と回答。

	今回調査(01年10月)
インターネット利用環境はある	99%
インターネット利用環境はない	1%

② インターネット上での決算説明会動画の視聴経験は、「良く利用している」前回の4%から20%、「利用したが問題が多い」が前回の20%から49%、「利用していない」17%、「利用できない」14%。動画の視聴経験は前回の24%から69%に急増している。

	今回調査(01年10月)
良く利用している	20%
利用したが問題が多い	49%
利用していない	17%

利用できない	14%
--------	-----

③「利用していない／利用したが問題が多い」

利用上の支障は、「音量を上げると周囲に迷惑がかかる」が最も多い39%。

以下「画質に問題が多い」27%、「映像・音声が途切れがち」9%といった技術的な点を挙げる向きが目立った。ただし、この問題の多くは、視聴者側のソフトやネット環境に原因があるという指摘もできよう。

「説明会で質問できない」13%。これは、主催者側に準備の過程で、配慮の余地があることを示唆している。

「その他の意見」として、技術的問題、コンテンツの内容、時間効率の問題、必要性そのものへの疑問があげられている。

(複数回答)

	今回調査(01年10月)
映像・音声が途切れがち	9%
説明会で質問できない	13%
音量を上げると回りに迷惑	39%
画質に問題が多い	27%
その他	36%

④「利用できない」は全体の14%だが、今後動画配信を利用できるような環境整備について質問したところ、83%は「その予定はない」と回答した。(未回答17%)。デジタルデバイドは明確に存在している。

⑤「よく利用している」動画配信コンテンツ

「よく利用している(全体の20%)」動画配信コンテンツは「音声＋静止画」47%、次いで「オンデマンド動画配信」35%、「ライブ動画配信」29%、「音声のみ」24%となっている。回線容量など視聴者側のインフラに負担をかけないコンテンツの利用が多いことがわかる。

⑥「よく利用している」動画閲覧ソフト

「Real Player」41%、次いで「Real Player＋Media Player」35%、「Media Player」12%の順番となっている。当初から動画への関心が高いアナリスト、ファンマネージャーはReal Playerの利用が多い。

	今回調査(01年10月)
Real Player	41%
Real Player＋Media Player	35%
Media Player	12%

⑦ 今後、説明会終了後に見たいコンテンツは、説明会に出席した場合は「説明会議事録、Q&A等の文書」68%がダントツで多い。次に「説明会資料」41%、「説明会での経営方針」33% 続いて「説明会での決算説明」が20%、決算短信「16%」となっている。

- ⑧ 説明会に出席しなかった場合に見たいコンテンツは「説明会資料」78%、「説明会議事録、Q&A等の文書」78%、「説明会での経営方針」72%、「説明会での決算説明」が67%と説明会に出席した場合と比較して多くなっており、特に説明会に出席しなかった場合に動画配信等のコンテンツがビジュアル性を生かしたIRツールとしても期待される結果となっている。
- ⑨ アナリスト、ファンドマネージャーが企業のホームページで閲覧している情報は、「会社案内」66%、「決算短信」56%、「説明会資料」56%の3点がダントツ。続いて「経営計画」44%。「アニュアルレポート」29%、「有価証券報告書」29%、「ファクトブック」は24%。

(複数回答)

	今回調査(01年10月)
決算短信	56%
有価証券報告書	29%
アニュアルレポート	29%
会社案内	66%
ファクトブック	24%
説明会資料	56%
経営計画	44%
その他	9%

大和IRでは、これらのインターネットIRや企業説明会を取り巻く環境に対応した、効果的な企業のディスクロージャー活動を今後とも支援してまいります。

【お問合せ先】 業務推進部長 米山徹幸(よねやま てつゆき)

E-mail : yoneyama01@daiwa.co.jp

Tel 03-3243-2347 Fax 03-3271-0267

以上